



「近所メルヘンRPG ピーカーブー」用シナリオ

「オバケ風邪流行中！」

プレイ人数：4～6人

ゲーム時間：3時間

シナリオ執筆：池田朝佳

あらすじ

イノセントたちの学校では、今、風邪が大流行しています。風邪を引いた子どもたちは、病院につれていかれるのですが、その後の様子がおかしいことに、PCたちは気づきます。どうやら、彼らはみな、同じ病院に通っているようです。その裏には、実はハグレオバケが暗躍しています。ハグレオバケは、自分の力をつけるために、子供たちの元気を吸い取ろうとしているのです！ PCたちは風邪を引かずに、ハグレオバケを退治することができるのでしょうか？

シナリオを読む前に……

このシナリオは、導入イベント、固定イベント、情報イベント、オバケ屋敷のデータによって構成されています。

このシナリオを遊ぶ場合は、まず「ハグレオバケの噂」、「風邪の流行」の2つの導入イベントを行ってください。導入イベントが終了し、プレイヤーたちに事件の依頼が終了すると、一日目の学校フェイズが開始されます。ルールに従って、事件を調査させてください。

情報イベントには、調査を行う場所とそこで必要な判定の種類が書かれています。判定の種類に関しては、あくまで例として考えてもらって構いません。ここに書かれていない方法でも、よいアイデアをプレイヤーたちが思いついたら、情報をもらえることにしてよいでしょう。情報イベントごとに設定された場所で調査を行うと、判定に+2の修正をあたえてください。調査の判定に失敗した場合は失敗の項目に書かれた情報を、成功した場合は失敗と成功の両方の情報を与えてください。

このシナリオは、つくりたてのキャラクターには少し難しいかもしれませんが、もし、PCたちがオバケ屋敷に行く前に、全員風邪を引いてしまったり、【眠気】が15点をこえるPCがいた場合、固定イベントの「魔女の手助け」に登場する魔女が、さらに飴を風邪をひいているPCの人数×1個くれることにしましょう。

●導入イベント1「ハグレオバケの噂」

日曜日、満月の夜、スプーキーたちは百鬼夜会に出席しています。いつでも大勢のオバケたちがわいわいと騒いでいる百鬼夜会ですが、今日のもっぱらの話題は、別の町からやってきたハグレオバケのことで。スプーキーたちにも仲のよいオバケたちが話しかけ

てきます。

「きいたきいた？ 隣町から、ハグレオバケが来たらしいよ。なんでも、オバケ狩りから逃げてきたんだって！」

「そんなやつが来たら、オバケ狩りまでこの町にやってくるかもしれないじゃん！ どうしよう？」

オバケたちはまだ噂に対しては半信半疑のようで、真剣にオバケ狩りを怖がっているわけではありません。そんな話をしていると、スプーキーたちは、この町のオバケのリーダーである、長老に呼ばれます。長老は、スプーキーたちに、噂になっているハグレオバケについて調べてくれないかと頼んできます。「まだ噂にすぎないようだが、本当だとしたら恐ろしいことだ。そのハグレオバケを追ってオバケ狩りがやってくれば、仲間たちが狩られてしまうかもしれない。それに、そのハグレオバケがオバケ狩りとの戦いで力を失っていたりすれば、強引な手段でその力を回復しようとするかもしれない。おまえたちの契約しているイノセントが狙われるということもありえる」

スプーキーがこの長老からの頼みを引き受けると、このイベントは終了します。

●導入イベント2「風邪の流行」

月曜日の朝、イノセントたちが学校に行くと、教室にいるクラスメイトの大半が、咳をしていたり、マスクをしていたりします。どうやらみな、風邪をひいているようです。さらに何人かのクラスメイトは、欠席しています。

風邪を引いているクラスメイトの中でも、一番具合が悪そうなのが、間中風子（マナカ・フウコ）です。彼女はイノセントの一人の隣の席に座っています。マスクはしていませんが、咳をがまんしているようですし、顔は真っ赤で、ふらふらしているようにも見えます。もし大丈夫かとイノセントが尋ねても、大丈夫だと答えます。

担任の先生がやってきて、ホームルームが始まりますが、そのホームルームの途中、風子は椅子ごと倒れてしまいます。

教室はちょっとした騒ぎになり、先生は隣の席のイノセントに、風子を保健室に連れて行くようにといます。そして、風子に向かって「今日は早退して病院に行きなさい」と言います。PCには、その言葉を聞いた風子が、おびえたような顔をするのが判ります。

保健室に行く途中、風子はイノセントにこう言います。「あたし、病院になんか行きたくない……。注射とか薬が怖いとか、そんなんじゃないくて！」

風子の話によると、彼女の風邪は元々、弟の雷人（ライト）がひいていたのが伝染ったものだそうです。雷人は病院に連れて行かれたのですが、それ以来、すっかり様子が変わってしまった、と風子は話します。元気過ぎるくらい元気だったのに、すっかりおとなしくなって、一日中ぼんやりしているというのです。「あたし、この後きつと病院に連れて行かれちゃう。そうしたら、あたしも雷人みたくなっちゃうんだ！ そんなのイヤ！ どうしよう？」

イノセントが、調べてみる、なんとかするなど、風子が安心するようなことを言うと、彼女「お願いね」と言います。

ここで、風子と一緒にいるイノセントは、《がまん/友達5》の判定をしてください。失敗すると、風邪をひいてしまいます。このイベントが終了すると、1日目の学校フェイズが始まります。

●固定イベント「風邪ひき」

このシナリオでは、イベントの判定に失敗したイノセントが風邪をひくことがあります。風邪をひいたイノセントは、戦闘をのぞく

サイクルの終了時に、【眠気】が1点増えます。

この風邪は、お医者さんにいったり、風邪薬を飲んでも治ることはありません。

●固定イベント「風邪が治った？」

2日目の学校フェイズに必ず起こるイベントです。風子が学校にやってきます。風子は相変わらず顔は赤いですし、咳もしているようなのですが、妙に元気です。

風子に話を聞くと、連れて行かれた「野際医院」で注射してもらったら、すっかり元気になったといいます。《生き物／勉強4》の判定に成功すると、風子の風邪がまったく治っていないことが判ります。また、風子と話したイノセントは《がまん／友達5》の判定をしてください。失敗すると、風邪をひいてしまいます。

イノセントが風邪をひいた状態で、自宅に戻ると、親から病院に行くよう言われます。親は最近評判がいいという理由で「野際医院」に行くよう勧めてきます。

●固定イベント「魔女の手助け」

PCが風邪を引いた場合起こるイベントです。風邪を引いたPCが、初めて町を歩いた場合に起こります。風邪をひいているPCに、ひとりのおばあさんが話しかけてきます。「おやおや、すいぶん変わった風邪をひいているみたいだね?」「これは、普通の方法じゃなおせない風邪だね……」そういって、おばあさんはPCに飴をひとつくれます。「もし苦しくなったら、これをおなめ。少しの間だけ、風邪が治まるよ」この飴をなめたPCは【眠気】が1D6点回復し、3サイクルの間、風邪による【眠気】の増加がなくなります。

PCには、このおばあさんが、この町に住んでいる魔女だということが判ります。もし「くすのき町」で冒険を行っている場合は、「だがし屋てるま」のてるまさん(p295)です。このイベントは1回しかおこりませんが、風邪をひいているPCが彼女の家について《お話作り／遊び9》の判定に成功すると、この飴を1個もらえます。

●固定イベント「病院に行こう！」

PCが「野際医院」に行った場合、発生するイベントです。野際医院は、小さいですが、まだ新しく綺麗な病院です。院長の野際先生が、イノセントを看てくれます。野際先生は若くて、格好いい先生です。イノセントが風邪を引いていない場合、先生は「とくに、病気じゃないみたいだね。なにか心配事でもあるのかな?」と言って、優しく接します。

PCが風邪を引いている場合、「今、はやっている風邪みたいだね。薬を出すから、1日3回、食後に飲んでね」と言って薬を渡してくれます。

●固定イベント「風邪の進行」

学校フェイズが始まるたびに、イノセントのクラスメイトたちの欠席が目立ってきます。1日目では1人、2日目では2人、3日目では4人と、欠席者が倍になっていきます。休んでいる人たちについて調べると、みな雷人と同じく、ぼんやりとしてしまっていることが判ります。

●固定イベント「流行の終わり」

5日目の学校フェイズに起こります。風邪の流行がぱったりと収まります。PCが風邪を引いていた場合も、治ってしまいます。ただし、野際医院はつぶれてしまい、学校を休んでいた生徒たちは、その後二度と学校に来なくなります。このイベントが起こると、シ

ナリオは終了となります。

●情報イベント「雷人の様子」

場所：間中家

判定：《手当て／大人4》

風子の弟、雷人の様子を見に行くと、手に入る情報です。風子が家にいる時間であれば、問題なく会うことができます。彼はベッドに寝ながら、ぼんやりとしています。

この行動を行ったイノセントは《がまん／友達5》の判定をしてください。失敗すると、風邪をひいてしまいます。

失敗：雷人のいった病院も「野際医院」だったようで、「野際医院」の名前が入った、薬の袋が見つかります。ただし、袋の中に、薬はありません。このことに関して、さらに風子にたずねると、雷人はいちいち薬を飲むことを面倒くさがっていて、一度に飲むとしていたことが判ります。

成功：雷人はすっかり魂が抜けてしまっているようです。

●情報イベント「風邪について」

場所：学校、学校の友達がいる場所

判定：《うわさ話／友達3》

学校で流行っている風邪について調べると判る情報です。

この行動を行ったイノセントは《がまん／友達5》の判定をしてください。失敗すると、風邪をひいてしまいます。

失敗：ここ2、3日で急に流行りだしました。みな、誰かにうつされた気がすると言っています。

成功：誰にうつされた、という話をたどっていくと、隣のクラスの阿部良太にたどりつきます。また、イノセントたちは、阿部良太が友達の少ない少年で、よくひとりで遊んでいる姿を見かけたことがあります。彼は学校に来ています。

●情報イベント「野際医院」

場所：商店街、家でお母さんに聞く

判定：《マナー／大人5》

「野際医院」について、調べると判る情報です。

失敗：最近、町外れに新しくできた病院であることと、場所が判ります。

成功：院長の野際先生は、若くてとても格好のよい先生だという噂が聞けます。そのせいで、若いお母さんたちに大人気で、子供を連れのお母さんがよくやってくるそうです。

●情報イベント「最初の風邪引き」

場所：学校

判定：《空想／遊び7》

阿部良太に風邪について訊きに行くと判る情報です。彼はまだ風邪をひいているようで、げげげと咳をしています。

この行動を行ったイノセントは《がまん／友達5》の判定をしてください。失敗すると、風邪をひいてしまいます。

失敗：彼の机の中から、「野際医院」と書かれた薬の袋が大量に出てきます。薬はすべて手つかずでまったく飲んでいないことが判ります。

成功：良太が風邪を引いたのは、野際医院の近くにある、廃病院に探検に行ったときだということを話してくれます。「親が留守だったから、夜に行ったんだ。やっぱり怖かったから、すぐに出てきちゃって……そのときのこと、あんまりよく覚えてないんだ。……気がつくまで風邪をひいてた」



この話を聞いたPCは、廃病院がオバケ屋敷ではないかということが判ります。

●情報イベント「風邪薬」

場所：どこでも

判定：なし。【魔力】を1点減らす

野際医院の薬について調べると判る情報です。この情報は、スプーキーが【魔力】を1点減少させると、調べることができます。イノセントが調べようとした場合は、失敗の結果がわかります。

失敗：一見普通の風邪薬ですが、【魔力】を感じます。スプーキーならば、もっとなにか判るかもしれません。

成功：どうやら、これは弱った人間から、少しずつ魂を吸い出してしまふ薬のようです。1つぶくらいなら、どうということはありませんが、たくさん飲めば、魂がなくなってしまう。

④オバケ屋敷

このシナリオのオバケ屋敷は廃病院です。部屋数は7で、1部屋目、3部屋目、5部屋目、7部屋目に固定イベントが設定されています。

●固定イベント「受付」

1部屋目のイベントです。

薄暗い病院の入口です。受付だけがぼんやりと浮かび上がっています。受付には、うつむいた女性が座っています。PCたちが近づくと「病気の子は、手術しましょうねえー！」と言って、驚かします。《勇気/友達9》の判定をしてください。失敗すると、行動済みになってしまう。

気がつくと、受付の女性は消えています。

●固定イベント「病室」

3部屋目のイベントです。

ベッドがいくつも並んでいる、大きな病室です。奥の方から、キィキィという音が聞こえます。よく見ると、奥の方には車椅子に座った男性がいます。PCが男性に気づくと、彼は「足をよこせえー！」と言いながら、車椅子を動かして追いかけてきます。《かけっこ/運動7》の判定に成功すると、逃げ出すことができます。失敗したPCは車椅子にひかれて、【元気】が2点または、【魔力】が1D6点減少します。

●固定イベント「診察室」

5部屋目のイベントです。

ボロボロの診察室です。机の前の椅子に、白衣を着た野際先生が座っています。PCが入ると、野際先生は「風邪ですね……今、お薬をお出しますから……」と言って立ち上がり、奥の部屋に行こうとします。《いたずら/不良7》の判定に成功すると、先生を止めることができます。

先生は、何者かに操られているようで「薬……とってこなきゃ……」とつぶやいています。

●固定イベント「調剤室」

7部屋目のイベントです。

古めかしい薬棚に、コウモリの干物や瓶詰めめ、ホルマリン漬けの目玉などが一杯につまった調剤室です。机の前にはごりごりと

乳鉢で何かをすり潰している、ハグレオバケ「オバケ風邪」がいます。

オバケ風邪はPCに気づくと、「にがあああ薬をのませてあげるよ、子供たち。この薬はねええ、ボクの身体できていんだよおお。そして、ボクに魂の力を分けておくれええええ」と言って襲いかかってきます。もし、5部屋目で野際先生を止めていない場合、野際先生は「モンスター・ベアレント」となって、一緒に襲いかかってきます。【魔力】が0になると、オバケ風邪は倒され、コバケ状態になります。オバケ風邪は「ごめんよおお。ごめんよおお。子供たちの魂を返すから、許してよおお」と言って、謝ってきます。オバケ風邪は「子供たちの魂の力はここに入ってるよ。のませれば、もともどるよ」といって、PCたちに、たくさん薬のカプセルを渡します。

④エピソード

オバケ風邪の渡してきたカプセルの中には、とられてしまった子供たちの魂の力が入っています。直接子供たちの家に配れば、魂をとられた子供たちは、元の元気を取り戻します。まだぼんやりしている野際先生に渡すと、野際先生は今まで配っていたオバケ風邪の薬の代わりに、この薬を配ってくれます。PCのひいていた風邪も治り、風邪の流行は、突然、終わりを迎えます。

翌日、すっかり元気を取り戻した風子がPCに話しかけて来ます。「弟がすっかり元気になったの！ 元気になると鬱陶しい気もするけど……でも、よかった！」

「(PCの名前)に相談したおかげかな……」

風子は事情はわからないまでも、PCがなにかしてくれたように感じているようです。もし、風子の隣の席のイノセントが男子ならば、風子はそのPCに淡い恋心を抱き始めていることが、他のPCには判るでしょう。

また、今回のお礼として長老からPC全員にお礼の品が届けられます。全員、p250のアイテム表を使って、なにがもらえたかを、ランダムに決定してください。

オバケ風邪

レベル：2 攻撃力：0

弱点：《手当て/大人4》

魔力：30

○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○

特殊：【お助け力：1】「オバケだぞ〜」

「不思議なクスリ」

コスト2。キャラクター1体を選びます。そのキャラクターは《がまん/友達5》の判定に成功しないと、熱が出ます。熱が出たキャラクターは、行動するまえに《手当て/大人4》の判定を行い、成功しないと行動済みになってしまう。

解説：人を病気にして薬を飲ませることで、人の魂を吸い取るハグレオバケです。元々はもっと強力な存在だったのですが、オバケ狩りとの戦いで、弱っています。そのため、普段ならこっそりやる魂集めをかなり派手に行っています。



© 2008 Adventure Planning Servide

© 2008 Kawashima Toichiro